



2025 年 7 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社メディア工房
代表者名 代表取締役社長 長沢 一男
(コード：3815 グロース)
問合せ先 取締役 長沢 和宙
(TEL. : 03-5549-1804)

繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 7 月 4 日開催の当社取締役会において、以下のとおり、繰延税金資産の取崩し及び通期業績予想の修正について決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

2025 年 8 月期の通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産 74 百万円を取り崩し、同額の法人税等調整額を計上することといたしました。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 通期業績予想の修正

	連結売上高 (百万円)	連結営業利益 (百万円)	連結経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 連結当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	2,186	△61	△69	△75	△7.44
今回発表予想 (B)	1,893	△356	△373	△449	△44.55
増減額 (B－A)	△293	△295	△304	△374	△37.11
増減率 (%)	△13.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2024 年 8 月期)	2,012	△141	△148	△270	△26.89

(2) 業績予想修正の理由

① 占い事業

当第3四半期連結会計期間における占い事業の業績は、前回発表予想の売上高 1,986 百万円に対し、売上高 1,340 百万円（進捗率 67.5%）、前回発表予想の営業利益 477 百万円に対し、営業利益 298 百万円（進捗率 62.5%）であり、芳しくない状況にあります。その要因は次のとおりです。

当社のデジタルコンテンツは、複数本の新規コンテンツを毎年リリースし、それを積み重ねていくことで売上を継続的に維持しており、リリース本数と1コンテンツあたりの売上（＝ヒットの有無）が重要となります。これに対し、前事業年度に年間リリース本数を減少させたこと及び新規コンテンツ制作体制の構築に遅れが生じたことが、当初想定した以上の売上減少要因となった他、新規コンテンツの売上においても不調が生じております。

また、当初計画に想定していなかった占い事業の新たな取組みに対し、当事業年度中に 50 百万円の業務委託費用等が生じる見込みであり、営業利益に影響すると予測しております。

② その他事業（新規事業関連）

韓国コスメ EC「Coréelle JAPAN」では、広告宣伝による認知拡大とこれによる売上拡大を図ったものの、現時点では期待する購買にまで至っておらず、業績への寄与は軽微となっております。また、「肌アプリ（仮称）」等の新規サービスに関するシステム開発においては、投資先行が続いており、当初計画より売上発生時期が後ろ倒しとなっており、2025 年 8 月期の業績への貢献は難しいものと予測しております。

③ その他

ア. 株主数の大幅な増加に伴う管理コストの増加に加え、管理職及び管理職候補となる人材の獲得に伴い採用費並びに人件費が増加しております。

イ. 資金調達や本社移転に伴い、コンサルティング等の業務委託費用 38 百万円が一時的に発生しております。

ウ. 「1. 繰延税金資産の取崩しについて」に記載のとおり、繰延税金資産 74 百万円を取り崩し、同額の法人税等調整額を計上いたします。

以上のとおり当第3四半期決算の状況を踏まえ業績予想を行った結果、売上高及び各段階利益において前回発表予想を下回る見込みとなりました。

3. その他

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な、合理的と判断できる情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく変化し、予想数値と異なる可能性があります。これらに関して開示すべき事項が生じた際は速やかに公表いたします。なお、当社の業績等に関する詳細な情報は、2025 年 7 月 4 日付で開示する「2025 年 8 月期 第3四半期決算短信」に記載しておりますため、あわせてご参照ください。

また、中期経営計画並びに事業計画及び成長可能性に関する事項については、現在見直しと数値の精査を行っております。修正内容等については、完了次第速やかに公表いたします。

以上